



## 庄原市ゼロカーボンシティ宣言

庄原市は、比婆の山々に囲まれた雄大な自然と、先人の知恵と努力によって築き上げられた歴史と文化をもつまちです。こうしたふるさとを次の世代に引き継ぎ、元気で住みよい地域づくりを進めていかなければなりません。

しかし、私たちを取り巻く自然環境は、人類の活動で排出される温室効果ガスの影響により、台風の巨大化や集中豪雨等の異常気象による災害が多発しており、安全で安心して暮らせる生活が脅かされています。

この課題を解決するため、日本政府は、2020年10月に「2050年カーボンニュートラル」を宣言するとともに、この宣言と整合的で野心的な目標として2030年度に温室効果ガスを46%削減（2013年度比）することを決定し、脱炭素化に向けたロードマップを示しました。

これまで長きにわたり受け継がれてきた本市の豊かな自然と文化を次世代に引き継ぐためには、私たち一人ひとりが強い意志を持って自らの行動を変えるとともに、再生可能エネルギーの最大限の導入、脱炭素社会の実現に向けた地域一丸となった取り組みが不可欠です。

よって、本市は、市民・事業者の協働のもと、2050年までに二酸化炭素の排出量を実質ゼロにする「ゼロカーボンシティ」の実現を目指し、持続可能な将来のために行動することを宣言します。

令和6（2024）年4月8日

庄原市長

木山耕三